

# 奈良市 第二回ミドルリーダー研修 令和元年11月1日(金) 奈良市役所

## グループ討議

前回のミドルリーダー研修では、ミドルリーダーの役割を考え、それを踏まえて実践シートを作成し、自分の強み、課題を知り、これから自園で取り組みたい目標をたてた。

その実践シートをもとに



- A. 保育内容の充実
- B. 学び合い・研修の充実に向けて
- C. 後輩・若手の育成・コミュニケーションについて
- D. 働きやすい職場作りに向けて

上記4つのグループに分かれて、実践して気付いたこと、実践して見えてきた課題を話し合う。

### A. 保育内容の充実

#### <気づき>

- ・発信、話し合いが大切 → 意思統一
- ・保育者が保育を楽しむ
- ・今までのやり方、歴史、流れではなく、目の前の子どもたちにとって何が必要か、何を育てたいか、育みたい力をしっかりと見取って考えていく → 明確なねらいを持つ事が大切



保育内容の充実

#### <課題>

- ・話し合いの時間を持つことが難しい
- ・子どもの姿を見取る力がないと、明確なねらいを持って保育内容を考えていくことができない

### B. 学び合い・研修の充実に向けて

#### <気づき>

- ・互いの良さを引き出し、高め合える場になるような話し合いが大切=話しやすい雰囲気作り
- ・園全体を把握し、定期的に話し合いながら、みんなで保育を作っていく
- ・若手の意見を引き出し、ベテランの先生の意見も聞き入れながら、互いに認め合う
- ・ミドルリーダーとして自分の意見をきちんと持つ

#### <課題>

- ・全ての職員をつなぐパイプ役として、コミュニケーションを図り、互いに認め合えるようにしたいが、難しいところがある。

### C. 後輩・若手の育成・コミュニケーションについて

#### <気づき>

- ・後輩の得意なことを認めて伸ばし、自信を持てるようにし、次なるステップへつなぐ
- ・具体的に声をかけ、こまめにコミュニケーションをとる
- ・若手の自発性を育てるためにも、「任せる」「見守る」「認める」ことが大切
- ・伸び伸びと力を出せるような雰囲気作りに努めるようにする

#### <課題>

- ・年上だけど経験の少ない先生、1年目、ある程度経験年数がある先生等、それぞれに応じたかわり方って難しい

### D. 働きやすい職場作りに向けて

#### <気づき>

- ・コミュニケーションをとり、横とのつながりを大切にする → 調整、調和していく
- ・自ら発信する
- ・すべての職員のパイプ役になり、業務が効率良く行えるように、割り振りや役割分担も必要。
- ・働きやすい職場とは・・・
  - \* お互いの立場や経験を尊重
  - \* 時間を確保して少しでも話し合う
  - \* 経験年数や立場に関係なく互いに信用する

#### <課題>

- ・こ幼保や、経験年数の違い、職種や立場の違いはあるが、お互いの立場を尊重しながら考えていくことが必要



# 講演 「育み支え合うミドルリーダーの実際 ～研修を現場に生かすために～」

講師 奈良教育大学 准教授 佐川 早季子氏

## ミドルリーダー研修の転移をめざして

○「研修転移」(中原他, 2019)とは

研修で学んだことが、現場で実践され、成果が生み出されること

【ミドルリーダーの強みとしての協働の4Bs】(Hargreaves&O' Conner (2017) を基に秋田加筆修正)

- Before: 園の保育の伝統や以前を知り学んでいる→伝統を踏まえつつ、こだわりすぎず、今の子どもたちに合った保育を考えることができる
- Beside: 若い年齢の保育者や職員と近い→若手、ベテランとも近いので、何でも言い合える
- Between: いろいろな人々の中間にいる→園の文化を引き継ぎつつ、新たに考え、若手に渡すことができる
- Beyond: 園を超えて、今保育の中で何が起きているかにも関心を持つことができる→園を超えて、今の時代の保育を考えることができる



(保育ナビ 2019年12月号より)

人と人をつなぎ、信頼関係を築く学び合う保育集団  
今日のグループワークが、ここに網羅されている



- \* 自分も保育を行っているメンバーなので、具体的な助言をできる。一緒に考え、行動できる。
- \* 園の文化を受け継ぎつつ、新たに考え、若手に渡すことができるのは、専門家としてのミドルリーダー

## 園づくりのことば

～保育をつなぐミドルリーダーの秘訣～

「ミドルリーダー」として工夫しているところ、実践の知恵、コツを27個の秘訣としてまとめたもの

井庭崇・秋田喜代美 編著  
野澤祥子・天野美和子・宮田まり子 著  
丸善出版  
2019年7月31日発売



3つのグループ

- ① 保育者が成長できる環境を作る 1～9
- ② 人をつなぐことで、子どもが育つ場をつくる 10～18
- ③ 保育についての既成概念をつくりかえていく 19～27

※マニュアルではなく、一つの解決方法

これをもとに自分の経験談、実践例、工夫などを話し合い、グループワークで出てきた課題への対応策を考える



ミドルリーダーが他の保育者と対話的な関係になるには…

実践の中にいるミドルリーダーが支え

- ミドルリーダーの心もちは保育者の心もちで
- 自分らしく、あなた自身のやり方で

研修を現場で生かすために

取り組みを続けてみよう  
新たにこんな取り組みをしてみたい



研修を現場に返していこう

作成者 幼児教育アドバイザー

小川原 由美子